

## 高知県における緊急地震速報の利活用状況調査結果まとめ

### ■南海トラフ地震に対する不安要素と事前対策

- ・南海トラフ地震に対して不安を感じている人は約95%。不安に感じている要素は「地震による強い揺れ」が80%弱と最も高い。次いで「今住んでいる建物や勤務している建物の倒壊」、「火事」が65%前後。「津波」は40%（沿岸：55%）。
- ・事前の取り組みとしては、「地震時の避難場所の確認」、「市町村等が実施する防災訓練への参加」が高い。次いで「地震保険への加入」、「自宅や勤め先付近の避難経路の確認」が半数程度。

### ■緊急地震速報に対する意識と理解、入手手段

- ・緊急地震速報については90%強の人が知っており、実際に見聞きしたことのある人も80%強。一方、内容や特徴について理解している人の割合は一部の項目を除き全体的に低い。
- ・緊急地震速報を見聞きした後に「強い揺れが来る」と思った人は50%弱。
- ・緊急地震速報の「音」については、「テレビ・ラジオ、携帯電話の音とも両方知っている」が高いが、約半数の人はテレビ・ラジオ、携帯電話のどちらかの音しか知らない。
- ・緊急地震速報の入手手段は、「携帯電話・スマートフォン（緊急速報メール）」が最も高く70%弱、次いで「テレビの画面や音声」50%。

### ■緊急地震速報を見聞きした際の行動

- ・緊急地震速報を見聞きした際にとるべき基本となる行動（緊急地震速報の利用の心得）はどの行動も高い割合で理解されているが、実際に緊急地震速報を見聞きした際に、身の安全を守るための具体的な行動がとられていない。
- ・緊急地震速報を見聞きした人のうち約80%の人が役に立ったと回答。

### ■今後、必要と思われる取り組み

- ・見聞きした場合にとるべき行動を確認して家族で話し合うことが必要との回答が最も多く65%弱。
- ・次いで、60%弱の人が、緊急地震速報に関するパンフレット等入手し、理解を深めることが必要と回答。
- ・近隣の自主防災組織や町内会、小中学校等、地域一体で、緊急地震速報を活用した防災訓練の実施が必要とする回答の割合が45%。